

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成31年2月20日

理事長 清野 智

訪日外客数(2019年1月推計値)

◇ 1月 : 前年同月比7.5%増の268万9千人

- 2019年1月の訪日外客数は、前年同月比7.5%増の268万9千人。2018年1月の250万1千人を約18万人上回り、1月として過去最高を記録した。
- 中国、台湾においては、航空座席供給量の増加に加え、今年は、旧正月（春節）が2月上旬となったことによる1月末の訪日需要の高まりもあり、前年同月比2桁増の高い伸びを記録した。また、豪州ではスキー、米国ではクルーズの需要が好調で、高い伸びを記録した。
- 市場別では、豪州で単月として過去最高を記録。14市場（中国、台湾、タイ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、米国、英国、フランス、ドイツ、ロシア、スペイン）で1月として過去最高を記録した。
- 昨今の世界情勢や旅行先の多様化などを背景に、訪日旅行市場を取り巻く環境は日々変化している。今後も市場動向を綿密に分析しながら、訪日旅行プロモーションを進めていく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客数の動向」内からダウンロードできます。

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html

「月別推計値(Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数(2003年~2019年)(PDF・Excel)」

* 最新の市場動向トピックス

https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/report.html

※1・2月のトピックスは3月末頃に掲載予定

お問い合わせ先：
企画総室 調査・マーケティング統括グループ
TEL : 03-6691-0939

平成31年 訪日外客数・出国日本人数

2019 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization(JNTO)

平成31年2月20日
20/Feb/2019

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成30年 2018	平成31年 2019	伸率 Change %	平成30年 2018	平成31年 2019	伸率 Change %
1 Jan.	2,501,409 (2,171,045)	*2,689,400	*7.5	1,423,727	*1,452,200	*2.0
2 Feb.	2,509,297 (2,280,872)			1,390,518		
3 Mar.	2,607,956 (2,283,596)			1,807,063		
4 Apr.	2,900,718 (2,603,797)			1,356,679		
5 May	2,675,052 (2,391,395)			1,383,847		
6 Jun.	2,704,631 (2,454,154)			1,421,649		
7 Jul.	2,832,040 (2,564,205)			1,557,980		
8 Aug.	2,578,021 (2,295,775)			2,033,435		
9 Sep.	2,159,595 (1,836,045)			1,630,088		
10 Oct.	2,640,610 (2,310,354)			1,646,230		
11 Nov.	2,450,751 (2,162,583)			1,673,465		
12 Dec.	*2,631,800			1,629,345		
1~1 Jan.-Jan.	2,501,409 (2,171,045)	*2,689,400	*7.5	1,423,727	*1,452,200	*2.0
1~12 Jan.-Dec.	*31,191,900			18,954,026		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2019年1月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Jan. 2019 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2018年 1月	2019年 1月	伸率(%)	2018年 1月～1月	2019年 1月～1月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,501,409	2,689,400	7.5	2,501,409	2,689,400	7.5
韓国	South Korea	803,816	779,400	-3.0	803,816	779,400	-3.0
中国	China	632,304	754,400	19.3	632,304	754,400	19.3
台湾	Taiwan	350,522	387,500	10.5	350,522	387,500	10.5
香港	Hong Kong	160,520	154,300	-3.9	160,520	154,300	-3.9
タイ	Thailand	82,592	92,600	12.1	82,592	92,600	12.1
シンガポール	Singapore	21,169	22,700	7.2	21,169	22,700	7.2
マレーシア	Malaysia	31,112	31,400	0.9	31,112	31,400	0.9
インドネシア	Indonesia	29,870	32,500	8.8	29,870	32,500	8.8
フィリピン	Philippines	31,706	36,000	13.5	31,706	36,000	13.5
ベトナム	Vietnam	27,703	35,400	27.8	27,703	35,400	27.8
インド	India	11,338	12,500	10.2	11,338	12,500	10.2
豪州	Australia	69,924	81,100	16.0	69,924	81,100	16.0
米国	U.S.A.	92,014	103,200	12.2	92,014	103,200	12.2
カナダ	Canada	20,459	22,300	9.0	20,459	22,300	9.0
英国	United Kingdom	19,913	21,600	8.5	19,913	21,600	8.5
フランス	France	14,602	15,300	4.8	14,602	15,300	4.8
ドイツ	Germany	11,066	11,400	3.0	11,066	11,400	3.0
イタリア	Italy	6,391	6,000	-6.1	6,391	6,000	-6.1
ロシア	Russia	5,689	6,300	10.7	5,689	6,300	10.7
スペイン	Spain	4,167	4,400	5.6	4,167	4,400	5.6
その他	Others	74,532	79,100	6.1	74,532	79,100	6.1

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2018年の数値は暫定値、2019年の数値は推計値である。

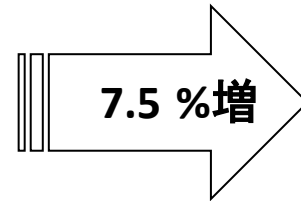
◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

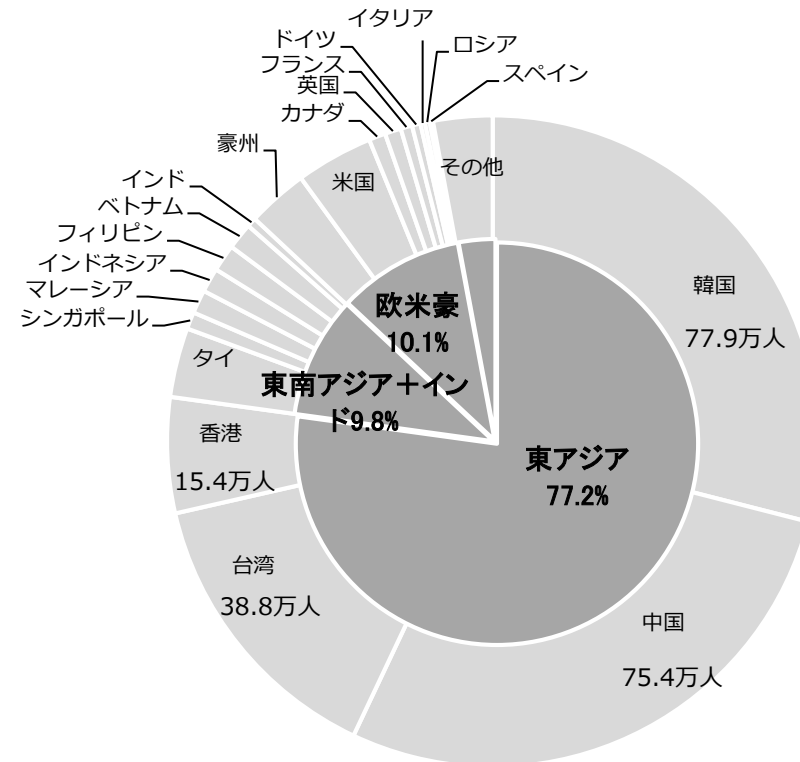
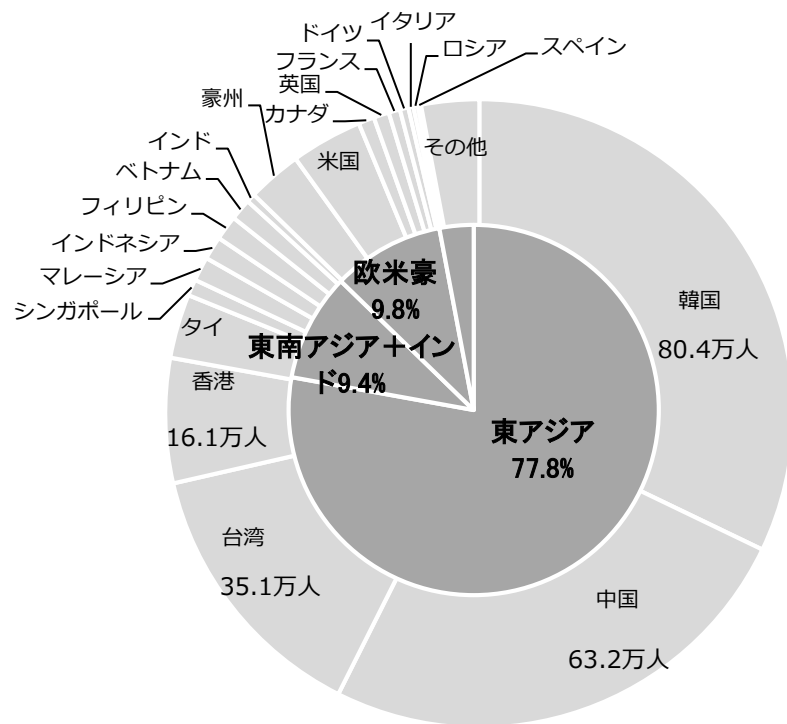
◆Note 2. Above figures for 2018 are provisional, those for 2019 are the preliminary ones estimated by JNTO

訪日外客数のシェアの比較 2018年/2019年

2018年1月
250万1千人



2019年1月
268万9千人



地域別訪日旅行市場の概況

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、前年同月比では3.0%減の779,400人であった。新規就航や増便により航空座席供給量は増加したものの、単月過去最高を記録した前年同月を下回った。韓国経済の低迷、韓中関係改善による中国への渡航需要の回復の影響は見られるものの、昨年相次いだ自然災害による訪日旅行を控える傾向は概ね鎮静化し、月別では過去2番目の訪日者数となった。
- **中国**は、前年同月比19.3%増の754,400人で、1月として過去最高を記録。昨年は2月中旬からであった春節の連休が今年は2月初旬となったことで、1月末の旅行需要が高まり、訪日者数の増加に繋がった。また、1月より開始した個人査証の発給要件緩和と航空座席供給量の増加が追い風となり、昨年7月以来、6か月ぶりに前年同月比2桁増の好調な伸びを記録した。
- **台湾**は、前年同月比10.5%増の387,500人で、1月として過去最高を記録。地方への新規就航やチャーター便就航による航空座席供給量の増加に加え、北海道ふっこう割を利用した旅行商品の出発や旧正月（春節）休暇の前倒し需要もあり、昨年4月以来、9か月ぶりに前年同月比2桁増の大幅な伸びを記録した。
- **香港**は、前年同月比3.9%減の154,300人であった。航空座席供給量は増加したものの、米中貿易摩擦による市民の消費マインドの悪化や香港と中国大陸を結ぶ高速鉄道と港珠澳大橋が開通し、中国へのより安価な旅行が選択可能となったことなどによる中国への旅行需要の高まりもあり、訪日者数は前年同月を下回った。

② 東南アジア

- **タイ**は、前年同月比12.1%増の92,600人で、1月として過去最高を記録。新規就航や増便により航空座席供給量が前年同月と比較して大きく増加したことに加え、旅行博開催や冬のアクティビティをテーマにした情報発信等の継続的な訪日旅行プロモーションが訪日者数の増加に寄与した。
- **シンガポール**は、前年同月比7.2%増の22,700人で、1月として過去最高を記録。旅行のピークシーズンである12月と旧正月（春節）の直前である1月は旅行需要自体が減少する傾向にあるものの、日本の冬の魅力を訴求する情報発信等の効果もあり、訪日者数は増加を維持した。
- **マレーシア**は、前年同月比0.9%増の31,400人であった。機材変更や増便による航空座席供

給量の増加があったものの、1月は学校休暇直後であることに加え、今年は旧正月が2月5日からであったため、学校休暇と旧正月の狭間となった1月は旅行需要の減少が見られ、訪日者数は前年同月比微増に留まった。

- **インドネシア**は、前年同月比8.8%増の32,500人で、1月として過去最高を記録。旅行博「Japan Travel Fair」をはじめ、昨年夏から秋にかけて開催された旅行博等での訪日旅行プロモーションや航空会社との共同広告による訪日需要の創出もあり、訪日者数は堅調に推移した。
- **フィリピン**は、前年同月比13.5%増の36,000人で、1月として過去最高を記録。12月からのフィリピン航空のマニラ-新千歳線の新規就航やセブパシフィック航空のセブ-成田線の増便等による航空座席供給量の増加に加え、継続的な訪日需要により、訪日者数は2桁増の伸びを記録した。
- **ベトナム**は、前年同月比27.8%増の35,400人で、1月として過去最高を記録。1月からのベトジェットスのハノイ-成田線の新規就航に加え、雪や温泉などベトナムでは体験できない日本の冬の魅力を訴求する訪日旅行商品の造成や販売等もあり、訪日者数は高い伸びを示した。
- **インド**は、前年同月比10.2%増の12,500人で、1月として過去最高を記録。商談会やファムトリップへ参加した旅行会社による、訪日旅行商品の造成や販売促進に加え、経路便を利用した個人旅行需要が好調であったこともあり、訪日者数は2桁増の伸びを記録した。

2. 豪州、北米

- **豪州**は、前年同月比16.0%増の81,100人で、単月として過去最高を記録。1月は学校休暇で、旅行需要が高まることもあり、12月と並んで1年で訪日者数が多い月である。航空会社との共同広告などの訪日旅行プロモーションの効果や、業界メディアを中心とした日本の露出機会の継続的な拡大に加え、12月からシドニー-関空線が増便したことによる航空座席供給量の増加もあり、訪日者数は単月として過去最高を記録した。
- **米国**は、前年同月比12.2%増の103,200人で、1月として過去最高を記録。外国旅行需要自体が引き続き増加傾向にあることや、クルーズ会社との共同事業等により訪日クルーズ需要の好調が続いたことに加え、メディアへの情報提供、支援等の取り組みによる日本関連記事の露出が増加していることなどが訪日需要を下支えし、訪日者数は堅調に推移した。
- **カナダ**は、前年同月比9.0%増の22,300人であった。1月として過去最高であった2017年(22,583人)にはわずかに及ばなかったものの、継続的な訪日旅行プロモーションによる日本の関心・認知度の高まりに加え、航空会社の早期予約の特別料金キャンペーンの影響、旧正月(春節)に伴う訪日需要もあり、訪日者数は対昨年比で堅調に推移した。

3. 欧州

- **英国**は、前年同月比8.5%増の21,600人で、1月として過去最高を記録。継続的な訪日旅行プロ

ロモーションの効果に加え、経由便を中心に低価格な航空券が販売されたことや大型クルーズの寄港の増加が訪日者数増加に寄与した。

- フランスは、前年同月比 4.8%増の 15,300 人で、1 月として過去最高を記録。継続的に展開している航空会社との共同広告、メディア招請などの訪日旅行プロモーションが功を奏した。また、7 月の「ジャポニスム 2018」、8 月の「Japan Expo」、9 月の「Top Resa」等、大型のイベントが開催され、日本の露出が増えたことで、旅行先としての日本のプレゼンスが高まっていると考えられる。
- ドイツは、前年同月比 3.0%増の 11,400 人で、1 月として過去最高を記録。堅調な経済状況や好調なクルーズ需要に加え、航空会社との共同広告やグローバルキャンペーンなど、訪日旅行プロモーションによる日本への関心・認知度の高まりも、訪日者数の増加に寄与したと考えられる。
- イタリアは、前年同月比 6.1%減の 6,000 人であった。クルーズ需要の減少や、今年は 4 月のイースター休暇に合わせて長期休暇が取得しやすい日並びになっていることから、訪日需要が 4 月に集中し、他の時期の訪日需要に影響を与えていることなどもあり、前年同月を下回った。
- ロシアは、前年同月比 10.7%増の 6,300 人で、1 月として過去最高を記録。航空路線の新規就航や増便に加え、広告キャンペーンや旅行会社招請の実施など、継続的に展開してきた訪日旅行プロモーションの効果もあり、訪日者数は 2 桁増の伸びを維持した。
- スペインは、前年同月比 5.6%増の 4,400 人で、1 月として過去最高を記録。航空会社や現地旅行会社との共同広告など、継続的に展開している訪日旅行プロモーションによる旅行先としての日本への関心・認知度の高まりもあり、訪日者数の増加に寄与したと考えられる。